

平成29年度 統一的な基準による泊村地方公会計財務書類

●統一的な基準による地方公会計財務書類とは

村の資産の状況や資金・純資産の動きを従来の単式簿記の方式から、より透明性を図るため、民間企業が行っている複式簿記の方式を用いて、4つの財務書類に表したものです。

平成29年度決算より総務省の定めたマニュアル(統一的な基準)に沿って作成しています。

全国統一したことにより、他の市町村の財政状況と比較が簡単であること。また、表を分析することによって改善点が見しやすくなるなど、健全な財政運営への効果が期待できます。

●賃借対照表

「資産の部」では、村が所有している土地や建物・お金などの資産を表示しています。

「負債の部」では、借金をして持っている資産(負債)と「純資産の部」では、純粋な資産(資産-負債)を表示しています。

単位:千円

資産の部		負債の部	
公共資産 土地や建物などの固定資産	15,190,248	固定負債(地方債など)	711,334
		流動負債(短期の借入金など)	88,519
投資その他の資産 出資金や基金など	4,092,153	負債の合計 A	799,853
		純資産の部	
流動資金 現金や未収金など	3,478,348	純資産の合計 B	21,960,896
資産合計	22,760,749	負債および純資産の合計(A+B)	22,760,749

●資金収支計算書

村の資金の1年間の増減を3つに分けて表しています。

単位:千円

平成28年度末の資金残高 A	116,097
1 経常的な行政活動に係る収支	815,452
2 投資・貸付金に係る収支	△ 796,694
3 地方債に係る収支	△ 45,657
平成28年度の資金の動き (1+2+3) B	△ 26,899
平成29年度末の資金残高(A+B)	89,198

●純資産変動計算書

純資産の1年間の増減を3つに分けて表しています。

単位:千円

平成28年度末の純資産残高 A	21,758,008
1 純行政コスト	△ 3,349,774
2 純資産の財源	3,548,744
3 純資産の変動額	3,918
平成28年度の資金の動き (1+2+3) B	202,888
平成29年度末の資金残高(A+B)	21,960,896

●行政コスト計算書

1年間の村の経費を表しています。

単位:千円

1 人件費(職員の給料など)	555,838
2 物件費(維持補修など)	1,613,712
3 その他の業務費用(支払利息など)	17,611
4 移転費用(補助金など)	1,366,713
経常的費用(1+2+3+4) A	3,553,874
経常的収益 B	203,745

単位:千円

経常的な行政コスト(A-B) C	3,350,129
臨時損失 D	2
臨時利益 E	357
純行政コスト(C+D-E)	3,349,774

●問い合わせ 泊村役場 財政課 財政係 TEL:0135-75-2021(代表)